

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】令和5年5月29日(2023.5.29)

【国際公開番号】WO2020/234375

【公表番号】特表2022-533765(P2022-533765A)

【公表日】令和4年7月25日(2022.7.25)

【年通号数】公開公報(特許)2022-134

【出願番号】特願2021-569386(P2021-569386)

【国際特許分類】

B 0 1 J 29/78(2006.01)

B 0 1 J 37/04(2006.01)

B 0 1 J 37/02(2006.01)

B 0 1 J 37/08(2006.01)

B 0 1 J 29/76(2006.01)

B 0 1 D 53/94(2006.01)

F 0 1 N 3/28(2006.01)

F 0 1 N 3/08(2006.01)

【F I】

B 0 1 J 29/78 A

B 0 1 J 37/04 1 0 2

B 0 1 J 37/02 1 0 1 Z

B 0 1 J 37/02 3 0 1 C

B 0 1 J 37/08

B 0 1 J 37/02 1 0 1 D

B 0 1 J 29/76 A

B 0 1 D 53/94 2 2 8

F 0 1 N 3/28 Q

F 0 1 N 3/08 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月18日(2023.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

請求項1から10のいずれか1項に記載のアンモニア酸化触媒を調製するための方法であって、以下の工程、

(a) 水と、銅及び鉄のうちの一つ以上を含む前記ゼオライト材料である前記選択的触媒還元成分と、好ましくは酸化物バインダーの前駆体、より好ましくは請求項3で定義した前記酸化物バインダーとを含む、第1の混合物を調製する工程、

(b) 水と、白金の源を含む前記酸化触媒成分の源と、前記多孔質の非ゼオライト酸化物支持体と、チタニアを含む前記第1の酸化物材料とを含む、第2の混合物を調製する工程、

(c) 工程(a)で得られた前記第1の混合物と、工程(b)で得られた前記第2の混合物とを混合する工程、

(d) 工程(c)で得られた前記混合物を基材上に配置し、そして任意に、前記混合物が上に配置されている前記基材を乾燥させる工程、

10

20

30

40

50

(e) 工程 (d) で得られた前記基材をか焼する工程を含む方法。

10

20

30

40

50